

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

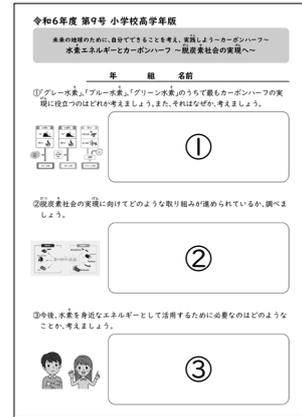
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～ 水素エネルギーとカーボンハーフ～脱炭素社会の実現へ～

①表題



②ねらい

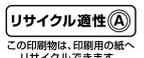
- ・水素エネルギーが、温室効果ガスを出さない地球に優しいエネルギーであること、水素はエネルギー資源として大きな可能性をもっていることを理解する。
- ・水素が生み出すエネルギーが非常に大きいことを知る。
- ・水素を製造する方法や製造する過程によって、水素の呼び方が異なることを知る。
- ・脱炭素社会の実現に向けて、水素の果たす役割について考える。

③本教材で扱う
主な内容

水素、水素エネルギー、水素をつくる方法、色で表現される水素、脱炭素社会に向けた取組

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○揭示用教材①を見て、水素エネルギーが温室効果ガスを出さない地球に優しいエネルギーであることを理解する。 ○水素が水の電気分解によって作り出すことができることを知る。	○水素が地球に優しいエネルギーであり、エネルギー資源として大きな可能性をもっていることを説明する。 ○水の電気分解について説明する。	◆揭示用教材①
○揭示用教材②を見て、水素が生み出すエネルギーの大きさを知る。	○ロケットの打ち上げに使われるなど、水素が生み出すエネルギーが非常に大きいことを説明する。	◆揭示用教材②
○揭示用教材③を見て、「グレー水素」、「ブルー水素」、「グリーン水素」のうちで、最もカーボンハーフの実現に役立つのはどれか、理由も含めて考える。	○水素は製造方法や製造過程によって呼び方が異なることを説明する。	◆揭示用教材③ ワークシート① ■東京都教育庁 環境教育ポータル
○揭示用教材④を見て、脱炭素社会の実現に向けて、水素が果たす役割を考え、進められている取組について調べる。	○脱炭素社会の実現に向けた水素エネルギーを利用する取組について、「つくる」「ための・はこぶ」「つかう」の観点に着目して調べるよう促す。	◆揭示用教材④ ワークシート② ■東京都産業労働局 Tokyo水素ナビ
○揭示用教材⑤を見て、今後、水素を身近なエネルギーとして活用するためにどのようなことが必要か、考える。	○現在、進められている取組を参考にして考えるよう促す。	◆揭示用教材⑤ ワークシート③ ■東京都環境局 「わが家の環境局長」 事業

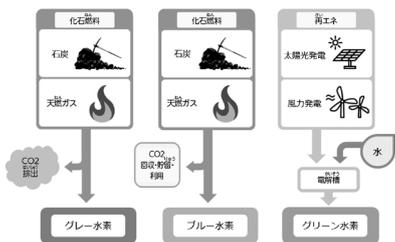


令和6年度 第9号 小学校高学年版

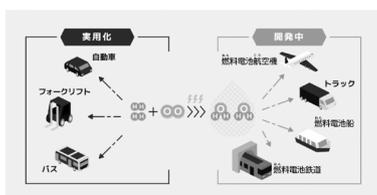
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～
水素エネルギーとカーボンハーフ ～脱炭素社会の実現へ～

年 組 名前

①「グレー水素」、「ブルー水素」、「グリーン水素」のうちで最もカーボンハーフの実現に役立つのはどれか考えましょう。また、それはなぜか、考えましょう。



②脱炭素社会の実現に向けてどのような取り組みが進められているか、調べましょう。



③今後、水素を身近なエネルギーとして活用するために必要なのはどのようなことか、考えましょう。

